

## 平成21年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	26,952	28,860	1,908	(注1)
施設整備費補助金	2,610	3,059	449	(注2)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	578	3,094	2,516	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	90	90	0	
自己収入	30,048	31,473	1,425	
授業料、入学料及び検定料収入	9,149	9,007	△ 142	(注4)
附属病院収入	20,435	21,908	1,473	(注5)
財産処分収入	26	52	26	(注6)
雑収入	438	506	68	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,625	5,426	801	(注8)
引当金取崩	154	236	82	(注9)
長期借入金	251	251	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	55	55	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	662	2,157	1,495	(注10)
計	66,025	74,701	8,676	
支出				
業務費	49,090	51,534	2,444	(注11)
教育研究経費	30,359	30,915	556	
診療経費	18,731	20,619	1,888	
一般管理費	6,801	6,300	△ 501	(注12)
施設整備費	2,951	3,400	449	(注13)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	578	3,021	2,443	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,625	4,712	87	(注15)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,967	1,937	△ 30	(注16)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	13	26	13	(注17)
計	66,025	70,930	4,905	
収入-支出	0	3,771	3,771	

## ○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金の予算額には前年度からの繰越金のうち使用予定額546百万円、また決算額には前年度からの繰越金2,454百万円を含んでいます。

(注2)施設整備費補助金は、補正予算の措置による増及び計画変更による減により、予算額に比して決算額が449百万円多額となっています。

(注3)補助金は、応募申請に努めたことによる増及び補正予算の措置による増により、予算額に比して決算額が2,516百万円多額となっています。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、学士課程及び博士課程後期に係る各収入が減少したことにより、予算額に比して決算額が142百万円少額となっています。

(注5)附属病院収入については、患者数の増、診療単価の増等により、予算額に比して決算額が1,473百万円多額となっています。

(注6)財産処分収入については、予算段階の見込みと比して増となったことにより、決算額が26百万円多額となっています。

(注7)雑収入については、主として余裕金の運用による利息収入の増により、予算額に比して決算額が68百万円多額となっています。

(注8)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたことによる増により、予算額に比して決算額が801百万円多額となっています。

(注9)引当金取崩については、予算段階では予定していなかった取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が82百万円多額となっています。

(注10)目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が1,495百万円多額となっています。

(注11)業務費については、退職給付が予定より少なかったこと、及び患者数の増に伴う医薬品、医療材料費等の増等による診療費用増により、予算額に比して決算額が2,444百万円多額となっています。

(注12)一般管理費については、効率的な執行及び経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が501百万円少額となっています。

(注13)(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が449百万円多額となっています。

(注14)(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,443百万円多額となっています。

(注15)(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が87百万円多額となっています。

(注16)長期借入金償還金については、予算段階では把握できなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。

(注17)(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。